

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

工事後の土地評価作業が行われました (裾野市深良地区)

東部



8月19日（月）、裾野市において中山間総合整備事業（深良地区）の換地業務に係る工事後の土地評価作業が行われました。

※「工事後の土地評価」とは、現地踏査により、工事後の土地条件を調査し評価を行い、換地評価表の作成や整理を行うもの。

深良地区は平成25年度に事業を開始し、約20haのほ場整備等を実施していますが、比較的農地がまとまっていることもあって、整備によってほ場が劇的に良くなった印象が強い地区です。

土地改良区事務局では、ドローンを飛ばして地区の様子を撮影するなどアイデアにあふれ、積極的に情報発信をしています。

東部農林事務所では、令和3年度の換地処分に向け、県土連や裾野市と連携しながら地元の方とともに作業を進めています。

東部農林事務所用地管理課 055-920-2163

沼津市の人・農地プラン実質化の推進状況

東部

今年度からすべての市町で人・農地プランの実質化を行うことになり、7月4日（木）に東部農林管内では最初に沼津市の実質化の取組について、市、中間管理機構、農林内の支援チーム、農村整備課とで打合せを行いました。

沼津市で令和元年度から令和2年度にかけて実質化する地域を、西浦・内浦地区と浮島・愛鷹地区と予定しています。西浦・内浦地区では「集落協定」をベースとした実質化プランと、「果樹産地構造改革計画」をベースとする「ミカンについての」実質化の可能性が考えられ、浮島・愛鷹地区では茶・米の担い手を中心に、将来的な基盤整備事業の導入を視野に入れての実質化プランの必要性が講じられました。

今後、沼津市において今年度の取組地区を選定し、現況把握のためのアンケート（案）を作成します。

9月を目途に第2回目の関係機関や農業委員会が連携した打合せを行い、現地の調査に入る予定です。



東部農林事務所生産振興課 055-920-2158

中部

清水地区で茶園の小規模基盤整備を
検討しています

清水区は庵原、両河内、日本平に広大な茶園を有し、JAしみず及び関係機関と連携して清水のお茶として産地振興を図ってきました。しかし、現在の茶園面積は250haしかなく、生産者も300名程度まで減少しています。この中、清水のお茶を維持するには意欲的な経営体を対象とした農地集積と基盤整備を推進し、乗用管理可能な体制を構築する必要があると考えます。

このため、清水農協と相談し、旧畑総等を活用した小規模茶園基盤整備を推進しており、8月19日（月）夜、茶生産者3名を交えて基盤整備に勉強会を開催しました。その結果、基盤整備の推進そのものは生産者も含めて概ね了解を得たことからほか、次回は候補地巡回のほか、生産者自ら簡易整備を実施していることから、耕作条件改善事業の定額助成を説明することとしました。

なお、この取組は8月末に実施する静岡市との意見交換会にて情報提供し、市関係各課にPRする予定です。

中部農林事務所企画経営課 054-286-9276

中遠

県営畑地帯総合整備(担い手支援)和田岡原地区
農地集積説明会を開催しました

8月9日(金)に掛川市西山公会堂にて和田岡原地区における農地集積及び工事概要に関する説明会を開催しました。

本会開催にあたり、和田岡原地区担い手農家の皆さん19名、掛川市職員2名が参加し、今後の予定についての説明を行いました。

説明会は各課担当職員より、事業経過や実績、今後の予定について説明を行い、担い手農家の皆さんからの質疑応答という形式で進行了ました。

中遠農林事務所では農地整備課、生産振興課が連携し、今後も中遠管内の農業振興への支援を積極的に行っていきます。



中遠農林事務所農地整備課 0538-37-2311